

意見公募（パブリックコメント）の実施結果について

案 件 名	登別市本庁舎建設基本計画（案）	
意見の募集期間	令和2年2月14日から令和2年3月16日	
担 当 グ ル ー プ	総務部総務グループ	
意見の提出件数	28件	
提出された意見の概要と市の考え方		
NO	意見の概要	市の考え方
1	スポーツジムやカフェを設置してはどうかと思う。また、ICカードなど最先端技術の導入を検討してはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民スペースの具体的な導入機能については、本計画の考え方を基本とし、市民や市内関係団体等の意見を参考として、その活用方法や必要性、経費等を総合的に勘案し検討します。</li> <li>・最新技術の導入を検討し、情報の保護、防犯上のセキュリティの向上を図ります。</li> </ul>
2	駐車場案、建物配置計画ともにB案が良いと思う。外観や建物の色彩等はどのように考えているか。また、建設工事中の市役所の運営はどうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観のデザインや外壁等の色彩等については設計の段階において検討します。</li> <li>・新庁舎は現第2庁舎を解体した跡地と現来庁者駐車場の敷地を利用して建設することから、建設工事中も現本庁舎を利用する計画としています。工事中の来庁者駐車場等については、今後、検討します。</li> </ul>
3	バリアフリー化について、車いすを使わない人と実際に使っている人の視点や視野、考え方など大きく相違があるので、実際に車いすを使われる方に、事前にチェックをしてもらってはどうか。また、トイレ等の設備は、わかりやすい場所に設置すべきである。各窓口等がどこに何があるか、わかりやすく表示する工夫を検討すべき。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーについては、ユニバーサルデザインを前提としながら、障がい者関連団体や実際に利用される方の意見を聞き、設計に反映します。トイレ等の利用者が多い共用スペースは来庁者の利便性や動線を配慮したレイアウトを検討します。</li> <li>・案内機能については、案内表示や窓口表示の色彩や配置を工夫し、誰が見ても分かりやすいものとなるよう検討します。</li> </ul>
4	現庁舎は一階が暗く、窓口等がどこに何があるかがわかりにくい。案内表示を見やすくすべき。タッチパネルによる手続き書類の機器の導入も良いのではないか。津波の浸水地域に建設するのであれば、防災拠点として活用するため、一階を高くするなどの対策が必要だと思う。市民スペースには、読書や勉強ができるスペースや授乳室、おもちゃやマンガ、アニメなどが楽しめるスペースの導入の検討を。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然採光や照明計画により十分な照度が確保できるような設計とします。また、案内機能については、案内表示や窓口表示の色彩や配置を工夫し、誰が見ても分かりやすいものとなるよう検討します。</li> <li>・本計画では、浸水対策として、災害対策活動を進めるための各室、設備を活動拠点室及び活動支援室と位置づけ3階以上の上層階に設置することとしております。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民スペースの具体的な導入機能については、本計画の考え方を基本とし、市民や市内関係団体等の意見を参考として、その活用方法や必要性、経費等を総合的に勘案し検討します。</li> </ul>
5	<p>大きい窓の設置や、吹き抜けを設けることで明るくなり、開放感が出て、市役所の印象が良くなると思う。また、市民スペースについては、学習スペースや市民が交流できるスペースを設けることで、役所の堅苦しい印象が変わり、誰でも気軽に行くことができ市民の交流や活動も活発になると考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然採光や照明計画により十分な照度が確保できるような設計とします。</li> <li>・市民スペースの具体的な導入機能については、本計画の考え方を基本とし、市民や市内関係団体等の意見を参考として、その活用方法や必要性、経費等を総合的に勘案し検討します。</li> </ul>
6	<p>バリアフリーとして、階段の半分をスロープにすることで、高齢者等が苦勞せずに通路を行き来できると思う。災害時のライフラインについては太陽光発電システムだけでなく風力発電の導入も検討すべき。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スロープの設置には多くのスペースが必要になることから、エレベーターの設置により対応します。バリアフリーについては、ユニバーサルデザインを前提としながら、障がい者関連団体や実際に利用される方の意見を聞き、設計に反映します。</li> <li>・自然エネルギーの利用については、その効率性や必要性、設置費や維持費等を総合的に勘案し検討します。</li> </ul>
7	<p>本庁舎を建設する場所は、地震・津波などの災害を考慮すると、少しでも高台の方にした方が良いと。一方、分散化している部署を可能な限り集約するのには賛成。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎の建設場所は、将来の都市機能への影響度、災害対応の強化、交通誘導の改善などを考慮し、市民が来庁しやすい最善の場所として現庁舎敷地内とすることとしました。津波等の浸水対策として、災害対策活動を進めるための各室、設備を活動拠点室及び活動支援室と位置づけ3階以上の上層階に設置することとしております。</li> </ul>
8	<p>現庁舎は、待合スペースの椅子が少なく、狭いと感じることから、新庁舎では対応が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待合スペースについては、十分なスペースが確保できるよう設計の段階で検討します。</li> </ul>
9	<p>屋外カフェテラスや食堂を設置すべき。栄養士を配置し、職員のサポートするほか、職員間のコミュニケーションの場として活用してはどうか。また、市民の利用も可能とすると、市民と職員の交流を図られるので良い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民スペースの具体的な導入機能については、本計画の考え方を基本とし、市民や市内関係団体等の意見を参考として、その活用方法や必要性、経費等を総合的に勘案し検討します。</li> </ul>
10	<p>津波対策について、予想より高い津波が将来起こった場合、どのように対応するつもりか。新庁舎の建設場所を変更し、津波の浸水地域でない地域に建設した方が良いと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画では、北海道が公表している津波浸水予測図における最大浸水深を想定して計画しています。また、浸水対策として、災害対策活動を進めるための各室、設備を活動拠点室及び</li> </ul>

		活動支援室と位置づけ3階以上の上層階に設置することとしております。
11	現庁舎は老朽化によるひび割れやタイルの剥離等や狭隘さの解消のため、迅速に改善する必要がある。市民スペースや来庁者駐車場の確保、また、職員が快適に仕事ができるようにスペースを拡大することも検討すべき。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現庁舎の老朽化等の解消については本計画に基づき新庁舎の建設を進めます。</li> <li>・市民スペースの具体的な導入機能については、本計画の考え方を基本とし、市民や市内関係団体等の意見を参考として、その活用方法や必要性、経費等を総合的に勘案し検討します。また、来庁者駐車場は十分な台数分のスペースを可能な限り確保します。</li> <li>・執務室はオープンスペースを基本とし、コンパクトかつ柔軟で効率的な職場配置を可能とするユニバーサルレイアウトを導入します。</li> </ul>
12	利用者のことを考えるとワンフロアサービスに賛成。案内表示は誰が見ても分かりやすいような工夫、配慮が必要。また、広すぎる供用利用スペースは利用者数を考えると不要。照明を明るくし柔らかい雰囲気を作るべき。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワンフロアサービスの導入により、来庁者の利便性と待ち時間の節減を目指します。</li> <li>・案内機能については、案内表示や窓口表示の色彩や配置を工夫し、誰が見ても分かりやすいものとなるよう検討します。</li> <li>・市民スペースの具体的な導入機能については、本計画の考え方を基本とし、市民や市内関係団体等の意見を参考として、その活用方法や必要性、経費等を総合的に勘案し検討します。</li> <li>・自然採光や照明計画により十分な照度が確保できるような設計とします。</li> </ul>
13	市民が気軽に訪れ、集い、憩うことができる場所があることはとても良い。キッズスペースや読書・学習スペース、カフェスペース等、時間を気にせず過ごせる場所や、市民団体が使えるスペースやギャラリーなどがあるのも良い。一方、市民が集うようになるということは災害にも強い庁舎にする必要がある。浸水地域に庁舎を作るのはどうかと思う。災害時にも市役所がしっかり機能するように浸水地域に作らないようにするのか、1階を駐車場にするなどして浸水から守るのかなどの検討が必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民スペースの具体的な導入機能については、本計画の考え方を基本とし、市民や市内関係団体等の意見を参考として、その活用方法や必要性、経費等を総合的に勘案し検討します。</li> <li>・本計画では、浸水対策として、災害対策活動を進めるための各室、設備活動拠点室及び活動支援室と位置づけ3階以上の上層階に設置することとしております。</li> </ul>
14	トイレなどが綺麗だと、職員も気持ちよく仕事ができ、来庁者も良い気持ちで訪問できると思うので、特に力を入れた方が良い。5階建てにすると、階段を登るのが辛くなってしまいます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ等の利用者が多い共用スペースは来庁者の利便性や動線を配慮したレイアウトを検討します。また、導入する設備等も利用者に配慮します。</li> </ul>

	う。一方で、1階をピロティにするという案は津波が来ても対応できるので良いと思う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画では、日常的な利便性を考慮しながら、防災機能を高められる4階建て（B案）が最適と考えています。また、浸水対策として、災害対策活動を進めるための各室、設備を活動拠点室及び活動支援室と位置づけ3階以上の上層階に設置することとしております。</li> </ul>
15	建設場所が津波浸水区域内に位置しているのにも関わらず、利用頻度の高い窓口を低層階に集中させてしまうのには個人情報紛失等の不安があると思う。また、災害対策機能や非常用電源設備、備蓄倉庫を高層階に備えるのは津波には適した対策だと考えるが、地震には適さない対策ではないか。津波浸水区域より離れた場所に建設を計画し、1階に災害対策機能等を備えることができれば、地震と津波双方に強い登別市本庁が完成すると考える。市民スペースについては、図書館を設置し、新聞や漫画、参考書などを配置することにより、老若男女問わず利用できるのではないかと。また、自習コーナーや、他自治体の事例にある塾等の設置も検討してはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画では、浸水対策として、災害対策活動を進めるための各室、設備を活動拠点室及び活動支援室と位置づけ3階以上の上層階に設置することとしております。重要書類等の保管についても、上層階への保管を検討します。</li> <li>・上層階に非常用電源設備等を設けることへの対策については、設計の段階において、構造計算により建物の十分な耐力を確保します。</li> <li>・新庁舎の建設場所は、将来の都市機能への影響度、災害対応の強化、交通誘導の改善などを考慮し、市民が来庁しやすい最善の場所として現庁舎敷地内とすることとしました。津波等の浸水対策として、災害対策活動を進めるための各室、設備を活動拠点室及び活動支援室と位置づけ3階以上の上層階に設置することとしております。</li> <li>・市民スペースの具体的な導入機能については、本計画の考え方を基本とし、市民や市内関係団体等の意見を参考として、その活用方法や必要性、経費等を総合的に勘案し検討します。</li> </ul>
16	現庁舎はすごく暗い感じを受ける。「室蘭市生涯学習センター『きらん』」は外観からも明るく老若男女利用してるところから、参考にすべき。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進事例を参考とし、基本設計の段階で十分に検討します。</li> </ul>
17	災害・避難機能・設備スペースを上階に設置することは賛成ですが、そもそも一階が浸水しないように建設場所を変えるなどの対策はできないものか。市民スペースについては、アンケートを実施するなど、ニーズ調査が必要と考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎の建設場所は、将来の都市機能への影響度、災害対応の強化、交通誘導の改善などを考慮し、市民が来庁しやすい最善の場所として現庁舎敷地内とすることとしました。津波等の浸水対策として、災害対策活動を進めるための各室、設備を活動拠点室及び活動支援室と位置づけ3階以上の上層階に設置することとしております。</li> <li>・市民スペースの具体的な導入機能について</li> </ul>

		は、本計画の考え方を基本とし、市民や市内関係団体等の意見を参考として、その活用方法や必要性、経費等を総合的に勘案し検討します。
18	現庁舎は暗いという印象がある。新庁舎は、建物の中を明るくすることで、市役所がこれまで以上に訪れやすい場所になるのではないかと。	・自然採光や照明計画により十分な照度が確保できるような設計とします。
19	「市民の安全安心を守り、市民が集い、協働のための庁舎」というテーマのもと人の安全を第一に建設することはとても良いと感じる。市民の方々が利用しやすく足を運びたいと思える、そんな庁舎になってほしい。特に高齢者や障がいのある方も利用しやすくなるようなバリアフリー、ユニバーサルデザインを取り入れるべき。	・本計画で示した新庁舎建設コンセプト、基本方針に基づき新庁舎の建設を進めます。 ・誰もが利用しやすい庁舎となるよう、バリアフリー、ユニバーサルデザインの導入を検討します。特に高齢者や障がいのある方に対しては、障がい者関連団体や実際に利用される方の意見を聞き、設計に反映します。
20	建替えには賛成。耐震性の不足はかなり問題である。また、老朽化による雨漏りなどの解消が必要。建替えにより環境をよくすることで、仕事の効率も上がり、利用者も綺麗な建物であれば、利用したくなると思う。また、屋上に太陽光パネルを設置してはどうか。	・本計画に基づき新庁舎の建設を進めます。 ・自然エネルギーの利用については、その効率性や必要性、設置費や維持費等を総合的に勘案し検討します。
21	余った土地等に、太陽光発電を設置し、土地を有効活用すべきと考える。日本の中でも北海道は比較的梅雨の影響を受けにくく、また夏場は気温が上がりにくいので、熱による出力ロスを他の地域に比べて抑えられると考える。発電量マップを見ると北海道の南東地域では緯度の高さにも関わらず本州と同じくらいの発電量を得られており、太陽光発電に向いている可能性がある。太陽光発電設備の価格はすでに落ち着いていることから、導入を検討すべき。	・自然エネルギーの利用については、その効率性や必要性、設置費や維持費等を総合的に勘案し検討します。
22	窓口カウンターについて、証明書発行など待ち時間の短い窓口は立ち式とするとあるが、高齢者のことを考え、椅子式とすることはできないか。新庁舎の建設中に市役所の業務に支障をきたすことがないか心配、どのような対応を考えているか。	・窓口カウンターについては、待ち時間の短い窓口は立ち式を基本としますが、車いすの方や高齢者等のため、車いす専用窓口や椅子式の窓口を一部設置します。 ・新庁舎は現第2庁舎を解体した跡地と現来庁者駐車場の敷地を利用して建設することから、建設工事中も現本庁舎を利用する計画としています。工事中の来庁者駐車場等については、今後、検討します。

23	<p>全面建替えには賛成。災害時の防衛拠点として考えた際、耐久性がなければ防衛拠点としての役割を果たせないという理由から。また登別市の中心となる市役所が綺麗だと活気が出てくるのではないかと考える。市民スペースについては、現在の市役所は入りにくい雰囲気があるので、豊後大野市のようなレイアウトだと老若男女問わず利用しやすいのではないかと考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画に基づき新庁舎の建設を進めます。</li> <li>・市民スペースの具体的な導入機能については、本計画の考え方を基本とし、市民や市内関係団体等の意見を参考として、その活用方法や必要性、経費等を総合的に勘案し検討します。</li> </ul>
24	<p>市民スペースの考え方には賛成。キッズスペース等の周辺に親子や高齢者の方の目につくような広告を掲示するなどにより、人が集まるのではないかと考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民スペースの具体的な導入機能については、本計画の考え方を基本とし、市民や市内関係団体等の意見を参考として、その活用方法や必要性、経費等を総合的に勘案し検討します。</li> </ul>
25	<p>窓口機能として、ワンフロアサービスやワンストップサービス導入すると、職員の業務量が多くなり回転率が悪くなるのではないかと考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口機能としては、来庁者の利便性を最優先し、市民利用の多い申請・届け出、証明書発行などの窓口をワンフロア（1階等）に集約して配置するワンフロアサービスを基本とします。</li> </ul>

※提出のあった意見のうち、1件は本案件に直接関係がない意見、2件は匿名による意見であったため、公表の対象としておりません。